

2022 年度

授業概要

科目名	発達障害評価学実習			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
授業を通して発達評価を行う。正常発達の知識を発達評価の中で定着させる。疾患別の評価を学び、生涯と生活機能との関連性を深く理解する。評価をすることにより、児の全体像をとらえ、日常生活の中で何が治療対象になるのかを考える。							
〔授業全体の内容の概要〕							
発達障害領域のひゅおかを学び、実際にWISCなどの発達検査を行う。実技と評価を中心に行うため、授業には動きやすい服装で参加のこと。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
発達障害領域の対象疾患の特徴を知り評価方法を習得する。							
回数	講義内容						
1	心身機能の発達過程						
2	心身機能の発達過程						
3	評価治療・援助の理論とモデル、障害児の保護者への子育て支援						
4	小児の作業療法過程						
5	小児の作業療法過程(定型発達と非定型発達の比較から)						
6	小児の整形疾患（分娩麻痺）						
7	小児の整形疾患（二分脊椎）						
8	小児の整形疾患（二分脊椎）						
9	小児の整形疾患（難病、被虐待児）						
10	小児の整形疾患（骨系統疾患）						
11	低出生体重児 ハイリスク児						
12	知的障害（ダウン症候群）						
13	筋ジストロフィー（デュシャンヌ型）						
14	筋ジストロフィー（福山型、筋緊張性他）						
15	知的障害（レノックス、結節性硬化症）						
16	重症心身障害						
17	脳性麻痺						
18	痙直型両麻痺・痙直型四肢麻痺						
19	痙直型片麻痺						
20	・アトローゼ型・失調型						
21	発達障害児						
22	発達障害児						
23	重複障害児						
	定期筆記試験						

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
イラストでわかる発達障害の作業療法	上杉雅之 監修/辛島千恵子 編著	医師薬出版
作業療法評価学	岩崎テル子	医師薬出版

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする